

せいさんしき 聖餐式

キリスト教会は世界中で聖餐式を「欠かすことのできない」こととして
ています。

信仰生活の扉である洗礼から聖餐へと続くひとつながりの聖礼典
(聖なる儀式)です。

聖餐は、明らかなる信仰をもって受けるべきものであります。まだ
洗礼を受けて教会員となっていない方、幼児の洗礼を受けて、まだ
信仰告白をしていない方は、これにあずかることができません。既に
父と子と聖霊の名によって洗礼を受け、教会員として生活をしてい
る方は、どこの教会に属する方であっても、共に聖餐を受けてくださ
い。

全ての方に信仰生活への扉は開かれています。

洗礼を希望される方は、牧師に相談ください。

豊橋東田教会の聖餐式では、ぶどう酒の代わりにアルコールを含ま
ないぶどう液を使用しています。

未成年者やアルコールを避けておられる方、車を運転される方も
安心してお受けください。



にほんきりすときょうだん とよはしあずまだきょうかい
日本基督教団 豊橋東田教会

〒440-0055 愛知県豊橋市前畑町112番地

電話0532-54-3435

武井 恵一牧師 携帯080-3428-3200

公式サイト <https://azumada.org/>



最後の晩餐(1495~1498年) レオナルド・ダ・ヴィンチ

壁画(テンペラ) 高さ4m20cm 幅9m10cm

サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ修道院(ミラノ)所蔵

聖書の言葉はすべて口語訳聖書から引用しています。
©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 1954, 1955

せいさんしきしだい 聖餐式次第

じょし 序詞

かいしゅう せいさんしき はじ つ こうじょう
会衆に聖餐式の始まりを告げる口上です。

せいていご 制定語

さいご ばんさん とき せいさん せいてい さま ことば
最後の晩餐の時に、聖餐を制定されたイエス様の言葉です。

きとう 祈祷

さま さだ さかざき かんしゃ いの
イエス様の定めてくださったパンと杯を感謝して祈ります。

しょうし 招詞

せいさんしき きょうかい まね ことば
聖餐式と教会への招きの言葉です。

ぶんさん 分餐

さかずき わ あ
パンと杯を分かち合います。

かんしゃ きとう 感謝の祈祷

せいさん かんしゃ いの
聖餐に感謝して祈ります。

とよはしあずまだきょうかい せいさんしき にほんきりすときょうだん しきぶん もち
豊橋東田教会の聖餐式では日本基督教団の式文を用いています。
こうごやくせいしよ いんよう せいく よ あ
口語訳聖書から引用された聖句を読み上げます。

せいしよ いんようかしよ き りかい むずか おも
聖書は引用箇所だけを聞いても理解が難しいと思います。
じへーじい こう きさい にほんきりすときょうだん しきぶん か
次頁以降に記載した日本基督教団の式文に書かれている引用箇所の
ぜんご か ぜ ひ よ
前後に書かれていることを是非お読みください。

序詞（司式者である正教師は会衆にむかって次の様に言う）

わたしたちは、今、主イエス・キリストの定められた聖餐にあずかるうとしています。主は、わたしたちの罪のために十字架にかかり、その死によって世をあがない、わたしたちを招いて、いさおのないままに神の子とし、永遠のいのちを約束されました。その測ることのできない愛と恵みとをわたしたちの心に刻みつけるために、主は聖餐を制定されました。

コリント人への第一の手紙 11章27節後半

27後半 ふさわしくないままでパンを食し主の杯を飲む者は、主のからだと血とを犯すのである。

また、

コリント人への第一の手紙 11章29節前半

29節前半 主のからだをわきまえないで飲み食いする者は、その飲み食いによって自分にさばきを招く

と勧められています。かえりみて、おのおのの罪を深く悔い改めなければなりません。このようにして信仰と真実とをもって聖餐にあずかりましょう。キリストのからだと血とにあずかるとき、キリストはわたしたちのうちに親しく臨んでおられます。また、この恵みのしるしは、わたしたちすべてを主において一つにします。いま、み霊の神に支えられて、この聖餐にあずかり、ひたすら主につかえ、その戒めを守り、互に愛しあいながら主の再び来りたもう日を待ち望みたいと思えます。

制定語

コリント人への第一の手紙 11章23～26節

23 わたしは、主から受けたことを、また、あなたがたに伝えたのである。すなわち、主イエスは、渡される夜、パンをとり、24 感謝してこれをさき、そして言われた、「これはあなたがたのための、わたしのからだである。わたしを記念するため、このように行いなさい」。

25 食事のち、杯をも同じようにして言われた、「この杯は、わたしの血による新しい契約である。飲むたびに、わたしの記念として、このように行いなさい」。

26 だから、あなたがたは、このパンを食し、

この杯^{さかずき}を飲むごとに、それによって、主^{しゅ}がこられる時に至^とるまで、主^{しゅ}の死^しを告^つげ知^しらせるのである。

祈祷

天^{てん}の父^{ちち}、み子^こイエス・キリストの苦難^{くなん}と死^し、復活^{ふっかつ}と昇天^{しょうてん}とを憶^{おぼ}え、この聖礼典^{せいらいてん}に湛^たえられている大^{おほ}なる恵^{めぐ}みを感じ^{かんじ}たいします。深^{ふか}き憐^{あわれ}みにより、わたしたちの祈^{いの}りをきき、みことばとみ霊^{たま}とをもってこのパンとぶどう酒^{しゅ}とを祝^{しゆく}し、これを聖別^{せいべつ}してください。救主^{すくいぬし}イエス・キリストのみ旨^{むね}に従^{したが}ってこのパンと杯^{さかずき}とを受け、聖なるいのちにあずからせてください。み子^ことみ霊^{たま}とともに支配^{しはい}される全能^{ぜんんのう}の父^{ちち}に世々^{よよ}限りなく栄光^{えいこう}がありますように。アーメン。

招詞^{しょうし} (次の聖句^{せいこ}のうちから二、三を適宜^{にさんてきぎ}に選ぶ)

マタイによる福音書^{ふくいんしょ} 11章28節^{しやう せつ}

28すべて重荷^{おもに}を負^おうて苦勞^{くろう}している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休^{やす}ませてあげよう。

ヨハネによる福音書^{ふくいんしょ} 3章16節^{しやう せつ}

16神^{かみ}はそのひとり子^ごを賜^{たま}わったほどに、この世^よを愛^{あい}して下さ^{くだ}った。それは御子^{みこ}を信^{しん}じる者^{もの}がひとりも滅^{ほろ}びないで、永遠^{えいえん}の命^{いのち}を得^えるためである。

テモテへの第一^{だいいち}の手紙^{てがみ} 1章15節前半^{しやう せつぜんはん}

15前半「キリスト・イエスは、罪人^{つみびと}を救^{すく}うためにこの世^よにきて下さ^{くだ}った」という言葉^{ことば}は、確実^{かくじつ}で、そのまま受けいれるに足^たるものである。

ヨハネの第一^{だいいち}の手紙^{てがみ} 2章1節後半~2節前半^{しやう せつこうはん せつぜんはん}

1後半もし、罪^{つみ}を犯^{おか}す者^{もの}があれば、父^{ちち}のみもとには、わたしたちのために助け主^{たすぬし}、すなわち、義^ぎなるイエス・キリストがおられる。

2前半彼^{かれ}は、わたしたちの罪^{つみ}のための、あがないの供え物^{そな}である。

詩篇^{しへん} 34篇8節前半^{へん せつぜんはん}

8前半主^{しゅ}の恵^{めぐ}みふかきことを味^{あじ}わい知^しれ。

ぶんさん 分餐

これは、わたしたちのために裂かれた主イエス・キリストの体です。あなたのために主がいのを捨てられたことを憶え、感謝をもってこれを受け、信仰をもって心の中にキリストを味わうべきであります。(ここでパンを分ける)



これは、わたしたちのために流された主イエス・キリストの血潮です。あなたのために主が血を流されたことを憶え、感謝をもってこれを受け、信仰をもって心のうちにキリストを味わうべきであります。(ここでぶどう酒を分ける)



アルコール分を含まない
ぶどう液です。

感謝の祈禱 (信徒の自由な感謝の祈りをもって代えてもよい)

慈愛の神、あなたは、限りなき憐みをもってわたしたちを招き、主の晩餐にあずかせてくださいました。深く感謝いたします。あなたは、これによって、み子イエス・キリストのあがないの恵みを、わたしたちのうちに確かめ、わたしたちの罪をゆるし、汚れをきよめ、とこしえの命を与え、み国の世嗣としての望みを堅くしてくださいました。いま、聖霊の助けにより、感謝をもって、このからだを生きた聖なる供え物としてみ前にささげます。わたしたち、主のからだのえだである自覚がいよいよ深くなり、ますます励んで主に仕えることができますように。また、キリストの復活の力を知り、その苦しみにあずかり、おりを得ても得なくても、みことばを宣べ伝えることができますように。

主よ、つねに恵みと祝福とを、わたしたちに満たしめ、終りの日まで、その平安のうちに、歩ませてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン。